

日本保険学会 平成 24 年度第 3 回理事会議事録

日時： 平成24年12月14日（金） 17：00～18：20

場所： 損保会館会議室

初めに江澤理事長から理事長再任の挨拶があり、また 新任の石田、河本、田爪、中林理事ならびに遠藤監事が挨拶を行った。

1. 審議事項

(1) 入退会者

江澤理事長より、入会者 9 名、退会者 2 名の説明があり、異議なく了承された。

(2) 新規賛助会員

理事長より 日本コープ共済生活協同組合連合会を賛助会員とすることが提案され、異議なく了承された。なお、賛助会費は10万円である。

(3) 平成24年度全国大会

江澤理事長より、以下のとおり大会の総括が行われた。

(i) 全般

- ・参加者は279名（昨年の神戸学院大学の参加者は、226名）。アフラック レイク会長の講演会と2日目のシンポジウムには、特に多くの参加者があった。
- ・評議員会は、今年も 時間を従来30分から、50分に延長して実施。
- ・学会としての総経費は、80万円程度に押さえることができた。この最大要因は、今年から 懇親会費等の事前振込みを実施したことによる。これにより、当日の受付時間の短縮化のみならず 学生アルバイト代を大幅（30万円 15万円）に減らすことができる、という副次的効果があった。事前振り込みは、来年以降も継続したい。

(ii) シンポジウム

- ・はじめての試みとして、2日目をまる1日使用して、シンポジウムを行なった。アンケート結果を見る限り、満足度は高かったといえる。ただ、最後のパネルディスカッションの参加者が若干少なめであったのは残念。

(iii) 自由論題

- ・今年は、自由論題の希望者が少なかったため、セッションを例年の3つから2つに減らした。また、毎年、報告時間が短すぎるという意見が多かったため、今年は、昨年の35分から、50分に拡大した。
- ・報告会場がやや手狭であったことは反省材料

(4) 平成24年度総会・評議員会

江澤理事長より、総会、評議員会の模様について、報告があった。

(5) 平成25年度全国大会準備状況

山野大会実行委員長が欠席のため、事務局より現時点での大会準備状況につき、以下のとおり報告があった。

- ・ シンポジウムならびに共通論題の総合司会ならびに報告者を以下のとおり決定した。(敬称略)

シンポジウム 総合司会：山本哲生評議員(北海道大学教授)

報告者 金岡京子(東京海洋大学教授) 山下純司(学習院大学教授)
白砂竜太(日本生命保険) 西羽 真(損保ジャパン)

共通論題 総合司会：恩蔵三穂評議員(高千穂大学教授)

報告者 石坂元一(福岡大学准教授) 石田成則理事(山口大学教授)
宮地朋果評議員(拓殖大学准教授) 小坂雅人(東京海上日動火災)

- ・ 共通論題については、「医療保険における官民の役割分担」をテーマとし、既に11月に1回目の打合せを行なっており、今月23日に2回目の打合せを行なう予定である。
- ・ シンポジウムのテーマは「債権法改正の保険事業に与える影響」であるが、債権法改正の動向がまだはっきりしないので、来年度に入ってから打合せを始める。
- ・ 自由論題については、現在報告者を人選中、また、例年どおり、保険学雑誌ならびに学会ホームページによる募集も行なう。自由論題の報告者については、次回3月理事会でご提案する予定である。

以上につき、了承した。

(6) 平成28年度大会について

理事長より、今般、平成28年度大会の開催校として、立命館大学(竹瀨理事)が受け入れの意向であるとの報告があり、異議なくこれを承認した。

なお、これにより今後の大会開催校は、以下のとおりとなる。

平成25年度	愛知学院大学
平成26年度	香川大学
平成27年度(学会創立75周年記念大会)	慶応義塾大学
平成28年度	立命館大学

(7) 各種委員会委員委嘱

理事長より、本日開催された企画委員会において、第2期学会賞選考委員候補者(任期2年)を下記のとおり選定したとの報告があり、これを異議無く承認した。

なお、学会賞選考委員会規則により、再任は認められないので、全員新任である。委員長は、今後委員の互選で決定される。

商学・経済学系(3名)：羽原理事、堀田理事、家森評議員
法律系(2名)：甘利理事、梅津理事、

あわせて、今回、部会等から報告があった下記人事につき、理事会として承認した。

・関東部会：（委員）明田理事、甘利理事、大塚理事、堀田理事、村田理事、
恩蔵評議員(新任)

（退任委員）押尾前理事

* 追記：12月21日に開催された関東部会役員会において、堀田理事が部会長に
就任した。（甘利理事から交代）

・企画委員会：【委員長】江澤理事長

（委員）甘利理事、井口理事(新任)、中浜理事、田爪理事(新任)、
福田理事、堀田理事、佐野評議員(新任)、

（退任委員）岡田_(豊基)前理事、羽原理事、吉澤前理事

・国際交流委員会：（委員）久保理事、中林理事、福田理事、大倉評議員(新任)、
李評議員

（退任委員）今井評議員（委員長）

* 追記：平成25年2月開催の委員会において、中林理事が委員長に就任した。

・大会企画委員会：【委員長】安井評議員

（委員）甘利理事、石田理事(新任)、河本理事、竹濱理事、
岡田_(太)評議員、山野評議員

（退任委員）押尾前理事、岡田_(太志)理事、木下評議員

（８）企画委員会報告

江澤理事長より、本日開催された企画委員会の結果につき、以下のとおり報告および提案があった。

日本保険学会賞選考基準の見直し

第1期委員（押尾委員長）から次の申し送り事項があった。

(i) 学会賞の選考対象とする「論文」については、学会賞選考委員会内規で前年度に刊行された保険学雑誌、生命保険論集ならびに損害保険研究の3誌に限定されているが、2012年度の選考では論文の部の法学分野で「該当なし」という結果になった。学会賞にふさわしい作品がなければ「該当なし」とすることもやむをえないが、論文の掲載範囲を、たとえば保険学雑誌文献目録や大学の紀要などにも広げ、会員の研究成果を網羅する必要がある。

(ii) 選考対象となる論文や著書の著者について、学会賞選考内規で「継続して2年以上(学会に)在籍する者に限る」と規定されているが、選考対象者の範囲を広げ、優れた研究成果を表彰する学会賞の主旨を生かすためにも在籍期間を短縮し、「1年以上在籍する者」とすべきではないか。

企画委員会での審議の結果、

(i) については、現行の3雑誌を学会賞の対象論文とするほか、新たに自薦、他薦も認めることにする。なお、締め切りは平成25年5月7日(火)までとする。

(ii)については、申し送り事項どおり、1年以上在籍するものとする。

と変更することとしたが、これでどうか。

これについて、会員、非会員、自薦、他薦を問わず、すべての保険関連論文を選考対象とすべきとの意見も出されたが、選考委員のロードが過大となり、弊害も予想されることから、今年度は、企画委員会提案の方針にもとづき運営することとした。また、在籍期間の短縮についても、承認された。

学会監事選任方法の改正

これまで学会の監事に関しては 慣例として学会事務局担当保険業界から2名、それ以外の保険業界から1名を選任してきたが、企画委員会において、

- ・ 次期役員改選時(平成26年10月)から、これを「生保1名、損保1名、研究者1名」という体制に変更する。なお、研究者1名については、理事経験者等、保険学会の状況をよく知るものを任命する。
- ・ これらの方針を次年度の役員等候補者選考委員会委員に伝えて、候補者を選定させることとする。

ということを決めたが、どうか。

理事会としては特段の反対意見なく、本修正案を採用することとした。

創立75周年記念事業

企画委員会において75周年記念事業について論議した。その結果、周年事業の責任部署は、それぞれ以下のとおり、既存の組織が担うこととし、75周年事業を行なう委員会を別途立ち上げることはしないことを確認した。

- ・ 記念シンポジウムの実施：大会企画委員会
- ・ 記念論文集の発行： 編集委員会
- ・ 学会75年史の作成： 企画委員会

理事会として、この決定を承認した。

2. 報告事項

(1) 委員会等報告

保険学雑誌編集委員会

中浜委員長より、保険学雑誌の投稿状況ならびに、619号の発行予定につき、以下のとおり報告があった。

- ・ 平成23年度の報告論文はすべて学会事務局宛提出されたので、同年度については、100%の論文掲載率を達成する見込みである。
- ・ 保険学雑誌619号「東日本大震災特集号」は、12月27日に発行する予定。

掲載論文16本(依頼原稿3、関東部会7、関西部会4、九州支部2)とパネルディスカッション(関東部会)1本を掲載し、346ページ建てで刊行する。

346ページというボリュームは、通常号としては1世紀を超える保険学雑誌史上、

もっとも分厚いものとなる。

- ・今号には、保険学文献目録作成への協力お願い、来年度大会自由論題報告募集、来年12月号「保険教育特集」の原稿募集、第2回保険学会賞発表等の記事を掲載した。

ホームページ委員会

明田委員長より、学会ホームページの閲覧状況の報告があった。また、本日付で学会英文ホームページのリニューアルを行ったことが報告された。

合わせて、現在、関東部会、関西部会、九州支部例会の報告レジュメは、学会HPに掲載されていないが、全国大会の報告レジュメ同様、掲載することにしたらどうか、との提案があった。各部会、支部にて検討することになった・

国際交流委員会

久保理事より、中国保険学会の組織について報告があった。まずは、支部単位の活動に参加することで交流を深めることの必要性が説明された。ついで、事務局よりAIDAローマ大会に関して、2つ目のアンケートの送付を受けたとの報告があった。

関東部会、関西部会、九州支部

甘利部会長、井口部会長、石田理事より、それぞれ部会・支部の実施状況ならびに実施予定の報告があった。

(2) 来年度事業計画作成依頼

理事長より、これまで各部会、委員会等の事業計画は、事務局が作成していたが、来年度より、それぞれの組織で作成願う、との依頼があった。締切日は1月末とする。

(3) その他

事務局より、11月1日付けで学会事務局スタッフの交代があったことが報告された。(竹内職員から池田職員に交代)